



## 主要な農作物の生育情報

平成26年度 第3号

(平成26年6月9日)

福島県農林水産部農業振興課



### 【水 稲】

#### 1 水稲

田植え作業は、始期（5%終了）、盛期（50%終了）、終期（95%終了）ともに平年に比べ1日遅れ、それぞれ5月9日、5月16日、5月25日でした。活着は概ね良好で、本田での初期生育は、分けつが発生、草丈の伸長、主稈出葉ともに平年並から良好です。

直播栽培は、4月下旬から播種作業が始まり、5月下旬でほぼ終了しました。出芽と苗立ちは、良好です。

移植栽培・直播栽培ともに、今後は有効茎確保まで浅水管理を徹底し、早期に有効茎を確保するよう努めましょう。なお、農薬を散布した場合、散布後7日間は止め水管理とします。

#### 2 麦類（農業総合センターにおける生育状況）

大麦の出穂期は、平年より1日から2日早くなりました。成熟期は、本部（郡山）で5月30日と平年より7日早まりました。また、浜地域の成熟期も平年よりやや早まる見込みです。

小麦の出穂期は、平年並から6日早まりました。成熟期は、平年並からやや早まる予想です。

生育量は、小麦・大麦ともに稈長が平年並から短く、穂数が平年並から少なく、穂長が平年並から長くなっています。

#### 3 夏ソバ

農業総合センター会津地域研究所で4月下旬から5月下旬にかけて播種し、出芽は良好でしたが、少雨の影響により草丈が短くなっています。早まきのソバでは、5月下旬から開花が始まっています。

### 【野 菜】

#### 1 アスパラガス

会津地方の露地栽培は、春の収穫がほぼ終了し5月下旬から立茎が開始されています。病害虫の発生も少なく、概ね順調に生育しています。

#### 2 きゅうり

県中地方の加温栽培、無加温栽培ともに平年並の生育です。加温栽培は側枝放任枝の収穫を迎えており、無加温栽培は親づる上段から子づる下段を収穫中です。収穫のピークは、4月下旬から5月下旬でした。

県南地方の露地栽培は、定植が5月中旬前半から始まり、多くは平年より5日程度遅い5月下旬に行われました。5月中旬まではほ場が乾燥していましたが、5月下旬の降雨によりほ場水分は確保され、生育は概ね順調です。出荷開始は、平年並の6月下旬の見込みです。

#### 3 トマト

県南地方の夏秋栽培では、生育の早いほ場で3～4段花房開花期を迎えています。概ね順調に生育しており、平年並の6月上旬から収穫が始まる見込みです。

#### 4 ピーマン

田村地方の夏秋栽培では、一部トンネル栽培に乾燥の影響による芯止まり症状が見られますが、概ね平年並の生育です。出荷開始は、平年並の6月下旬からの見込みです。

## 【果 樹】

(果樹研究所における生育の概況)

### 1 も も

「あかつき」の満開は、平年より2日早い4月19日で、県内各産地の結実状況は概ね良好です。

6月2日現在の「あかつき」の果実肥大(暦日比較)は、平年と比較し縦径115%、側径123%と平年より大きい状況です。

なお、福島、伊達地域で、「せん孔細菌病」の春型枝病斑の発生が平年より多く、病害虫防除所から同病に関する注意報が発表されました。

今後、感染拡大を防止するため、春型枝病斑やこれに類似する疑わしい枝枯れは、見つけ次第徹底してせん除し、適期防除を徹底しましょう。

### 2 な し

「幸水」の満開は、平年より1日早い4月26日で、県内各産地の結実状況は概ね良好です。

6月2日現在の「幸水」の果実肥大(暦日比較)は、平年と比較し縦径115%、横径117%と平年より大きい状況です。

### 3 りんご

「ふじ」の満開は、平年より2日早い4月29日で、県内各産地の結実状況は概ね良好です。

6月2日現在の「ふじ」の果実肥大(暦日比較)は、平年と比較し縦径109%、横径114%と平年より大きい状況です。

### 4 おうとう

「佐藤錦」の満開は、平年より2日早い4月23日で、結実状況は概ね良好です。同所の「佐藤錦」の収穫開始は、6月12日頃と見込まれます。

### 5 ぶどう

「巨峰(無核栽培)」の開花始まりは、平年より6日早い5月31日で、6月7日頃には満開を迎える見込みです。

## 【花 き】

### 1 キク類

県北地方の7月咲きのコギクにおいて、5月の降水不足により一部ほ場で草丈の抑制が見られますが、出荷は平年並みの6月下旬から7月初旬の見込みです。

### 2 リンドウ

安達地方の生育は、平年並であり極早生品種の出蕾期～側芽発生期を迎えています。

喜多方地方では5月下旬以降、高温多照で経過していることから生育は旺盛です。一方、降雨が少ないため水利が悪いほ場では、干ばつ傾向で生育が抑制されています。

### 3 シュコンカスミソウ

会津地方では、かん水により少雨の影響はほとんど見られず順調に生育しています。現在、6月咲きの作型の出荷が始まっていますが、6月下旬から7月にかけて出荷数量が増加する見込みです。

## 【飼料作物】

牧草は、5月の気温上昇と降雨により順調に生育しています。5月下旬から収穫期を迎え、現在収穫作業が行われています。

飼料用とうもろこしは、少雨の影響により発芽が遅れた地域がみられましたが、その後回復して順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>